

B 学校規模別充実率別学校数

充実率	学校種別 学校規模	小 学 校				中 学 校					高 等 学 校				特 殊 教 育 諸 学 校	計		
		I	II	III	分校 計	I	II	III	IV	計	I	II	III	計				
9.9%以下					62	62	7	1			8							70
10~19.9%			5		27	32	1			1								33
20~29.9%			11		22	33	1	6	2	9			1					43
30~39.9%		4	34		30	68	2	8	7	17			1	3	1			89
40~49.9%		4	47		34	85	1	9	14	26			17	3	20			131
50~59.9%		2	72	2	24	100	1	7	37	6	51		21	9	30			183
60~69.9%		1	96	1	11	109		6	54	16	76		15	5	20			208
70~79.9%		5	100	19	10	134		4	52	20	76		2		2			215
80~89.9%		6	81	23	10	120		1	32	20	53							175
90%以上			49	14	3	66		2	9	3	14							80
計		22	495	59	233	809	13	44	207	67	331	0	57	20	77	10	1,227	

C 国庫補助金交付額交付学校数調

交付 年度	小 学 校		中 学 校		高 等 学 校		盲 学 校		聾 学 校		養 護 学 校		計	
	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額	対 象 校 数	交 付 額
29	62	4,092	66	6,544	5	516	1	30	1	30			135	11,212
30	60	3,747	45	4,618	25	2,575	2	70	1	43			133	11,053
31	58	3,450	43	4,211	23	2,363	1	34	2	66			127	10,124
32	63	3,664	47	4,475	24	2,452	1	50	2	98			137	10,739
33	75	4,571	61	5,634	22	3,159	1	53	2	100			161	13,517
34	88	4,723	67	6,531	25	3,132	3	105	1	41			184	14,532
35	100	5,524	63	6,787	24	3,533	1	41	3	105			191	15,990
36	144	11,276	51	5,985	27	3,915					1	87	223	21,263
37	194	14,285	52	6,116	40	7,275	4	240	4	240	1	90	295	28,246
38	186	12,916	55	6,275	34	6,284	4	210	4	240	1	61	284	25,986
39	177	13,888	69	7,204	27	5,550			1	80	1	60	275	26,782
40	168	12,041	79	6,925	41	6,200	4	265	4	252	2	100	298	26,783
41	113	9,002	60	6,230	32	6,899	4	400			1	100	210	22,631
計	1,488	103,179	758	78,535	349	53,853	26	1,498	25	1,295	7	498	2,653	238,858

2 科学技術教育担当教員の資質向上

(I) 理科教育講座

① 目 的

理科実験講座に引き続いて、昭和38年度より5ヵ年計画で実施されているもので、本年度はその第4年次にあたる。

県内の小・中学校および県立学校の教員のうち、理科を担当し、あるいは将来担当しようとする者に対して、自然科学の発展に伴う新しい見方に重点をおき、理科教育の本質を理解させ、その本質に即した指導法を修得させることを目的としている。

② 主 催

文部省、県教育委員会

③ 期 間

小・中学校部会 8月1日～6日(6日間)

高等学校部会(地学班)8月22日～27日(6日間)

④ 会場および担当教育事務所

部 会	地 区	会 場	担当教育事務所
小 学 校	県 北 南	理科教育センター 須賀川第一中学校	信 夫 岩 瀬
中 学 校	県 北 南 津 浜	安達中学校 郡山第三中学校 若松第一中学校 浪江中学校 小学校	安 達 郡 山 北 津 双 会 業
高等学校	全 県	理科教育センター	(指 導 課)

⑤ 受 講 者 数

小学校部会 2会場 計 90名

中学校部会 4会場 計 157名

高等学校部会 1会場 27名

⑥ 講師および助手

各部会の講師を担当する講師は、福島大学教授、県教育庁指導主事、理科教育センター指導主事、小・中・高等学校教諭などの中から、それぞれ適任者を得て、その延べ数は98名にのぼっている。

⑦ 講 座 内 容

文部省の作成した、小・中・高校別の理科教育講座指導書をテキストとして、それぞれの会場ごとにテーマを設定し、それぞれの目的にそって実施した。

講座の形態としては、実験・観察・実習・演習・講義・デモンストレーション・討議・協議・研究授業・視聴覚教具の利用等、できるだけ多彩な方法を考慮し、これらを効果的に組合わせて、各テーマの指導法が具体的に理解されるようにくふうした。なお、研究授業は児童、生徒の出勤日などを利用して、なるべく実施するように努めた。

次に本年度の講座にとりあげられた、代表的なテーマをあげてみたい。

<小学校部会>

ア 遊びによる指導

イ. 生物の観察指導

ウ. 製作活動と科学的事実の認識

エ. 継続観察の指導

オ. 天体の学習における昼間の指導

カ. 抽象的な思考と必須な経験

キ. 物の性質の変化についての理解を深めるための思